青葉台自治会の沿革

平成　元年末	青葉台ニュータウンとして入居開始 小学校は高須小学校、中学校は高須中学校
平成　２年	青葉台南が３１区（高須地区）自治会２８組として組織
平成　３年　４月	青葉小学校開校 青葉台南３丁目が２９組として分割
平成　４年　４月	西・東で３０組を結成
平成　５年　４月	南１丁目分割（南１・２・３が確立） 青葉台合同自治会結成
平成　６年　４月	西１・西３・西４と５・西２と東の４つに分離（計７組）
同年　４月	青葉台公民館開館
平成　７年　４月	若松区第３８区青葉台自治会発足（組名は住所主体に変更）
同年　９月	ＣＡＴＶ自主管理組合の管理を自治会で受領
同年　９月	青葉台自治会が認可地縁団体となる。【法人化】 認可書番号：北九州市指令市市区第 176 号（平成 7 年 9 月 4 日）
平成　８年　４月	ＣＡＴＶ部・社会福祉部を増設
平成１１年　４月	青葉市民福祉センター開所 青葉地区まちづくり協議会発足
平成１４年　４月	青葉地区青少年育成協議会を合体し自治会青少年育成部として組織改正
平成１５年　２月	ＣＡＴＶデジタル化対応住民投票実施
同年　４月	自治会役員各組より選出制度実施 自治会役員２年任期の半数毎年入替制度導入
平成１６年１２月	ＣＡＴＶデジタル化工事完了 青葉台市民福祉センターが青葉市民センターへ名称変更
平成１７年　１月	ＣＡＴＶデジタル化工事竣工検査
平成１９年１０月	ＣＡＴＶ地上デジタル放送開始
平成２２年　４月	「青葉台みまわり隊」結成
平成２５年　８月	青葉台ＣＡＴＶ施設のＪ：ＣＯＭ移管が投票により決定
平成２６年　６月	青葉台ＣＡＴＶ施設のＪ：ＣＯＭ移管が完了
平成２７年　５月	青葉台自治会ホームページを開設
平成２７年１１月	住民投票の結果「青葉台フェスティバル」の中止を決定
平成２８年　４月	社会福祉部を青葉台地区社会福祉協議会として自治会から分離
平成２８年１１月	カラーコピー機を導入
平成２９年　４月	社会福祉部を再設立
平成２９年　９月	敬老行事「第１回青葉笑和会」を青葉小学校体育館で開催
平成３０年　１月	防犯カメラ第１号を設置（青葉台南１丁目公園）
平成３０年　４月	青葉台自治会総会で法人化の要件を議決し、認可地縁団体として活動を開始
平成３０年　５月	自治会規約（改訂第２版）が北九州市長の承認を受ける。
平成３０年１０月	敬老行事「第２回青葉笑和会」を青葉小学校体育館で開催
平成３１年　３月	防犯カメラを追加設置（８箇所）